

危険体感教育(無料)体験セミナーのご案内

(公社)愛媛労働基準協会

- 1 趣旨… 近年、高齢化の進展等により転倒や腰痛等のいわゆる行動災害が増加しています。この傾向は、第三次産業とりわけ小売業や社会福祉施設において顕著なことから、愛媛労働局が策定した愛媛第14次労働災害防止計画では、転倒防止、腰痛予防対策への取組企業を増やして、行動災害の防止につなげることを第一目標に掲げています。



行動災害を防止するためには、まずは段差の解消や整理整頓、危険個所表示、防滑シューズの活用などの物理的な職場環境の改善が第一ですが、加えて、従業員の意識と行動を変えることも重要です。そのための教育手法の一つに、危険体感教育により個々の従業員の危険感受性を高める安全衛生教育があります。

そこで、愛媛県下で行動災害が多発している小売業や社会福祉施設の責任者や安全衛生管理の担当者等に対して、危険体感教育を実際に体験いただき、今後の安全衛生教育の一手法として提案し、安全衛生教育の実施機運を高めるとともに、その計画的、継続的な実施につなげていただくために開催するものです。

- 2 主催者 公益社団法人愛媛労働基準協会
3 後援 愛媛労働局(各所轄所労働基準監督署)
4 開催日時 令和7年2月27日(木)～令和7年3月12日(水)
午前の部 … 9:30～11:30(2時間)
午後の部 … 13:30～15:30(2時間)



※開催日、会場等の詳細は申込書を参照ください。

- 5 参加費 無料
6 申込方法 申込書に必要事項を記入してFAXでお申込みください。(FAX 089-927-7732)
先着順に定員まで受付 午前の部、午後の部共に16名(定員になり次第締め切り)
受付が完了した場合は、申込から3日以内に主催者から個別に電話連絡いたします。
7 対象者 業種：小売業、社会福祉施設(愛媛労働局の+Safe協議会設置業種)を優先します。
職制：事業場の代表者、労務・安全衛生担当者等で1事業場2名までとします。
※定員に余裕がある場合は、上記以外の業種や職位・職制の方も申込みが可能です。

8 体験内容 (予定)

歩行年齢測定



センサーに向かって歩くだけで、歩行年齢や姿勢を数値化。歩き方の特性を把握して、改善により転倒を防ぎます。

重量物運搬体感



実際に重量物に触りながら、腰痛を予防する持ち方や力の入れ方を学びます。

脚立からの転落(VR)



VRを使って無理な体勢による脚立作業を体感し、作業中に起こる転落の怖さと正しい脚立の使用方法を学びます。

階段からの転落(VR)



VRを使って階段昇降時の転倒の怖さを体感し、階段利用時の安全ポイントなどを学びます。